

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2002-12640(P2002-12640A)

【公開日】平成14年1月15日(2002.1.15)

【出願番号】特願2000-272955(P2000-272955)

【国際特許分類】

C 08 F 299/06	(2006.01)
C 08 F 2/44	(2006.01)
C 08 F 2/46	(2006.01)
C 08 L 67/02	(2006.01)
C 08 L 75/16	(2006.01)

【F I】

C 08 F 299/06	
C 08 F 2/44	C
C 08 F 2/46	
C 08 L 67/02	
C 08 L 75/16	

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月27日(2007.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

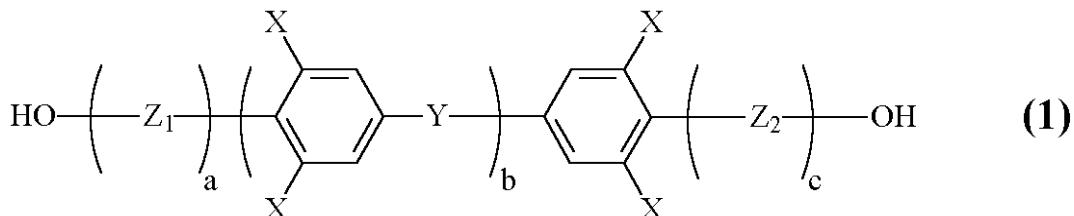
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】分子中に(メタ)アクリロイル基を3個以上有し、かつ、分子中に芳香環を含まないウレタン(メタ)アクリレート(A)と、主鎖に芳香環を有し、かつ、オキシアルキレンに直結した末端水酸基を2個有するジオール(b1)と、有機ポリイソシアネート(b2)と、水酸基含有(メタ)アクリレート(b3)との反応物である(メタ)アクリロイル基を2個有するウレタン(メタ)アクリレート(B)とを含有してなることを特徴とする活性エネルギー線硬化型樹脂組成物。

【請求項2】分子中に(メタ)アクリロイル基を2個以上有するウレタン(メタ)アクリレート(B)が、下記一般式(1)

【化1】



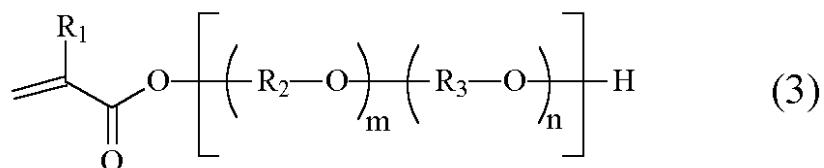
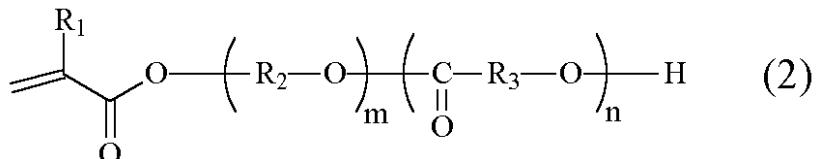
[式中、Xはそれぞれ独立して水素原子、C1、BrまたはIを表し、Yは単結合、または2官能の有機基を表し、Z1及びZ2はそれぞれ独立して、-OR-または-C(=O)OR-(Rは置換基を有していても良く分岐していても良い炭素原子数2~8のアルキレン鎖を示す。)を表し、a、b、cはそれぞれ独立して0~20の整数であり、a+cの平均値は1~20である。]で表されるジオール(b1)と、有機ポリイソシアネート(b2)と、水酸基含有(メタ)アクリレート(b3)との反応物である請求項1記載の活

性エネルギー線硬化型樹脂組成物。

【請求項3】 一般式(1)中のa、b、cがそれぞれ独立して0～4の整数であり、一般式(1)中のa+cの平均値が1～4であり、(Z<sub>1</sub>)a及び(Z<sub>2</sub>)cの平均分子量は100以下である、請求項2記載の活性エネルギー線硬化型樹脂組成物

【請求項4】 分子中に(メタ)アクリロイル基を3個以上有するウレタン(メタ)アクリレート(A)が、3個以上のイソシアネート基を有する化合物と下記一般式(2)または(3)で表される化合物とを反応させて得られる化合物である請求項1～3のいずれか1項記載の活性エネルギー線硬化型樹脂組成物。

【化2】



(式中、R<sub>1</sub>は水素原子またはメチル基を示し、R<sub>2</sub>、R<sub>3</sub>は置換基を有していても良く分岐していても良い炭素原子数2～8のアルキレン鎖を示し、mおよびnはそれぞれ独立して、mは1～10の整数、nは0～10の整数である。式(2)において〔〕内はプロック状あるいはランダム状の鎖を示す。)

【請求項5】 さらに熱可塑性樹脂(C)を含む請求項1～4のいずれか1項記載の活性エネルギー線硬化型樹脂組成物。

【請求項6】 熱可塑性樹脂(C)が、不飽和2重結合を主鎖骨格中に有する樹脂である請求項5記載の活性エネルギー線硬化型樹脂組成物。

【請求項7】 熱可塑性樹脂(C)が、ビスフェノールAおよび/またはビスフェノールF骨格を有するポリエステル樹脂である請求項5または6記載の活性エネルギー線硬化型樹脂組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

即ち、本発明は、

(I) 分子中に(メタ)アクリロイル基を3個以上有し、かつ、分子中に芳香環を含まないウレタン(メタ)アクリレート(A)と、主鎖に芳香環を有し、かつ、オキシアルキレンに直結した末端水酸基を2個有する化合物であるジオール(b1)と、有機ポリイソシアネート(b2)と、水酸基含有(メタ)アクリレート(b3)との反応物である(メタ)アクリロイル基を2つ有するウレタン(メタ)アクリレート(B)とを含有してなることを特徴とする活性エネルギー線硬化型樹脂組成物を提供するものであり、また本発明は、

(II) 分子中に(メタ)アクリロイル基を2個以上有するウレタン(メタ)アクリレート(B)が、下記一般式(1)